



東 俣 野 3月

東俣野小学校 学校だより

平成27年3月2日

子どもの成長に思うこと

校 長 村田 幹男

この時期、子どもたちの様子を見るとき、年度当初の様子と比較しながら見ている自分に気づきます。職員室に入る際うまくあいさつを言えなかった子たちも、今はきちんとできるようになっている、一輪車ができなかった低学年の女の子たちが、いつの間にか乗れるようになっている、〇〇さんの文字がじょうずになっている……。こんな具合に、一人ひとりの成長がよく分かりますし、朝会時に、ステージに上がると、4月に比べてみんな何と大きくなったことかと感じます。

それに比べて、私は少しでも成長しているのかと、考えてしまいます。

私の仕事は多岐にわたりますが、子どもたちとの継続的なやりとりとして、朝会時に話をするのもその一つです。

毎回、何の話をしようかと悩みます。季節にあった自然の話、記念日や年中行事、世の中のニュース、名言やことわざ、学校生活でのエピソード、私自身の思い出話、などなど、いろいろなネタから、一つ二つに絞って内容を決めています。年中行事や自然の話などはいいい加減なことは言えませんが、調べてみると、知っているようで実は知らなかったことも多く、とても勉強になります。ただ、内容を決めて整理するまでが私は時間がかかってしまい、朝会前夜は一仕事になっています。今は写真や文字を簡単に拡大投影できますので、体育館で行うときは、視覚に訴える資料を見せながら話す機会も多くしています。

話している最中も「話が長いかな。」「つまらないかな。」とすぐに心配になりますが、真剣に話を聞いている子どもたちを見ると、とてもいとおしくなります。

休み時間に校舎内を回っていると、たまに「校長先生、この間のトイレの話おもしろかったよ。」「校長先生が言っていたこと、やってみたよ。」と話しかけてきてくれる子がいます。こういうことが励みになります。子どもも大人も同じ。関心をもってくれて、反応してくれるとうれしいものです。せっかく話の時間をいただいているわけですから、子どもたちにとって少しでも分かりやすく、覚えていてくれるような話をしていかななくてはと思います。また、職員にも、保護者や地域のみなさんにも、積極的に思いを伝えていこうと思います。

今年度も本校の学校教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございました。

来年度は、創立30周年記念の年を併設の東俣野特別支援学校とともに迎えます。例年以上に教職員一同力を合わせていくつもりです。よろしく願いいたします。

